

(2) 食品加工工場

昭和村には、山菜やきのこを加工する会社があります。ここは、2つの工場と1つの営業所を持っており、昭和村のなかでも規模の大きな会社です。



この会社は、昭和38年に大芦に工場を開業しました。現在では、喰丸の工場に本社を移しています。

現在、この会社全体で約70名の方が働いています。近年は、コンピュータを取り入れ、作業の自動化に努めています。

喰丸にある山菜加工工場では、山菜やきのこを加工して袋づめし、県内を始め、東北地方・関東地方、遠くは関西方面まで出荷しています。

工場で働く人たちのお話

この工場で加工している山菜やきのこは、以前は地元でとれた物が多かったのですが、近年は、地元産の物は量が少なくなってきているなどの理由から、長野県や新潟県でとれた物が多くなっています。また、遠く外国から輸入された物を使うことも多くなってきました。

この会社では、工場で作った品物がたくさん売れるために、さまざまな工夫をしています。例えば、今はどんな物がたくさん売れるのかを調べたり、同じ物ばかりでなく、新しい商品の開発に力を入れています。また、急ぎの注文が来たりした時など、材料がなかったりすることもあり、苦労することもあります。

